

第12回クラブ内ビデオコンテスト

第12回クラブ内ビデオコンテストが2月11日の定例会で行われました。黒田アドバイザーも参加して講評をいただきました。出席会員は10名、発表作品は10本でコンテストが行われました。

コンテストでは各作品を発表後に意見交換をせずに続けて鑑賞し、全作品の発表終了後に全員の投票により最優秀賞1名、優秀賞2名の入賞3作品を選出しました。司会は加藤代表幹事が務めました。

1. クラブ内ビデオコンテスト発表作品

最優秀賞 加藤須満子さん 「私の生きがい」9分



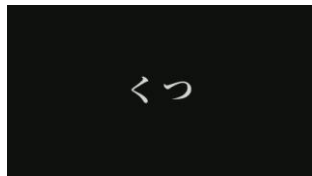
長男からビデオカメラをもら

ったのがきっかけで、孫たちの成長記録を残すことを目標に。それ

がいつのまにか自分の生きがいになっている。

評：映像というのは一つの大事な記録というのが伝わる。家族の記録がストーリーでつながっていた。

優秀賞 中村能己さん 「くつ」5分40秒



悩みを抱える少年に突然話

しかけるくつ。**評：**こういう作り

方があるのかと感心した。途中、人生で失敗しているという場面を強く出したかった。

優秀賞 岩沢初男さん 「12年前の酉年の我が家の



元旦」6分50秒

今年は酉年なので、12年前の我が家の大晦日から元旦の日ノ出と、ヒヨ

コに入っていたお年玉をもらって喜ぶ孫の映像です。

評：アイデアが素晴らしく、家の露天風呂で楽しむ様子がよく伝わった。

荒木 勉さん 「伏木曳山祭」6分15秒 (HD)



富山県高岡市伏木地区で行われる祭りの紹介です。以前、例会に出したことがあります

が、陣野さんの提唱する3段構成に編集し直しました。**評：**手馴れてきちとできていたが、武者行列はもう少し短くするか、最初に持ってきたほうが良かった。

渡辺 實さん 「ちいさい秋」2分53秒



8年前、府中市郷土の森へ秋の花々を愛でに家内と出かけた。ハギやヒガンバナが咲き揃い、夫婦

がご機嫌で散策する姿を自分撮りでカメラに収めた。**評：**常にツーショットで小さい秋をかけていて面白かった。きちとアップも撮ってメリハリがあった。

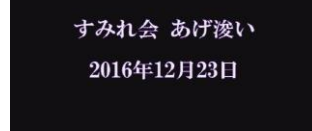
黒澤 眞さん 「おれんじ食堂」8分16秒 (HD)



鹿児島本線肥薩線で新八代一川内駅間を走る観光列車「おれんじ食堂」号に乗車します。美しい鹿

児島の海岸線をゆったり、のんびりをモットーに走りながら車内で豪華なランチを楽しみます。**評：**一つの紀行ものとして非常に良かった。ランチを食べた感想などあったらもっと良かったのでは。

中山公子さん 「すみれ会あげ浚い撮影会」9分25秒



2016年12月23日、すみれ会あげ浚い（発表会）の撮影会に行っ

りました。立ち上げてからまだ2年程の会では、舞妓見習、芸者さんに小唄、踊り、三味線などを教えています。評：フィックスできちっと撮ったのが良かった。身内ネタは最後に持ってきたほうが笑いを誘えたのでは。

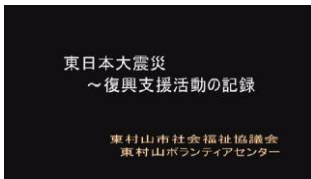
加藤 守さん 「八菅山例大祭」 7分5秒 (HD)



専門用語が解りにくいので可能な限り解りやすく直してみました。毎年3月28日に行なわれる例

大祭は関東でも有数な山伏達の修験の道場であったと云われており火渡りをする迫力は息を呑むほどです。評：最初はスローではなく、実写を使ったほうが良かった。大部見やすくなって、見ごたえがあった。

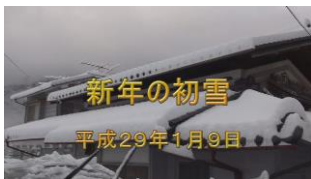
飯山一伸さん 「東日本大震災・被災地を訪ねて」 10分



東日本復興支援活動の記録を撮り続けて4作目になります。本作品は第1

作目の「いわき市」編です。現在、第5作目を社会福祉協議会と企画中です。評：交流活動があまり見えていなかったのが残念。テレビのシーンはBGMが難しい。貴重な記録で力作だった。

降旗廣邦さん 「新年の初雪」 5分 (HD)



1月例会で発表した作品の講評で、問題だった2か所を訂正したものです。雪の降る風景を加え、何

故道路に面した坂に駐車するのか説明を加え、2年前の映像にタイムスリップして分かり易くしました。評：2年前の豪雪映像はもう少し短くしないと今年のすごさが薄まってしまう。映像は面白くて楽しめた。

◎ コンテスト作品の掲載

「コンテスト」全発表作品はクラブの Youtube にアップロードし、ホームページ (HP) からご覧になれます。

みんなの広場



ビデオカメラの選択

荒木 勉

最近、ビデオを撮影するカメラの形態が変化しています。デジタルカメラにビデオ機能が内蔵され、かなり高画質のものが増えてきました。アクションカムという小型で取り付けの自由が高いカメラも定着しています。スマホやタブレットは画質も良くなり、非常に多くの人が使用しています。性能面というと、4Kは一般的になりつつあり、機種もだんだん増えてきました。HDRという、輝度の範囲を広げて、より人間の感覚に近くなるというものもあり、人によっては4Kよりも効果があると言っています。選択肢が多くなる何を選んでいいか、ますます難しくなっています。

4月例会のお知らせ

4月8日(土) 午後1時30分～5時

4月例会は春爛漫の季節になっていることでしょう。さて、暖かくなった季節にカメラを持って表に出て大いに撮影を楽しみましょう。そして、作品制作にも気合いを入れて・・・楽しい映像を楽しみにしていま～す。

(編集後記)

最近、にわかになんて忙しくなってきたビデオ撮影関係はすっかり遠のいてしまいました。ブランクが長いと勘が鈍って“うまく撮影できなくなるのでは”と心配になります。

(荒木 勉 記)